



浜田水産高校「同窓会会報」



〒697-0051

浜田市瀬戸ヶ島町25-3

TEL 0855-22-3098 Fax 0855-23-4811

E-mail hamasui-01@shimanet.ed.jp

H P https://hamasui.ed.jp/

会長あいさつ

浜水会会長 山崎 晃
浜水会員の皆様におかれましては、全国各地で日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は、母校及び同窓会「浜水会」の発展のため物心両面のご高配を頂き厚く御礼を申し上げます。



さて、母校は平成29年10月28日に、待望の創立70周年記念式典を開催しました。浜水会としましては、趣意書を作成し、20年ぶりに募金活動をさせていただきました。その節には大変お世話になりました。事業内容は、①初代丸川久俊校長先生のモニュメントサインの贈呈、②70周年記念誌への助成、③教育施設設備の整備、④浜水会基金等に充てる募金活動です。70周年記念事業に併せて10年ぶりの会員名簿の発行にも取り組みました。

昨年1年間を振り返ってみますと、4月10日（火）に入学式があり、海洋技術科30名、食品流通科17名、専攻科10名が入学しました。6月17日（日）は、浜水会役員会を開催し、70周年記念事業の報告として、①丸川校長先生モニュメントサイン、②70周年記念事業、③募金事業の決算及び残額の使途、④会員名簿の状況等を報告させていただきました。

7月8日（日）には、第9回浜水会広島支部総会に、学校から中村公一校長先生、山本省三教諭と、浜水会から山崎と中村副会長が出席しました。広島支部総会の出欠席の返信用はがきの近況報告が総会の資料にあり、38名の卒業生の近況を伺い知ることができました。9月30日（日）には、第24回関西浜水会総会に、中村公一校長先生と出席しました。創立70周年記念式典・記念事業の概要や、丸川久俊校長先生のモニュメントサインの設置場所等について、写真12枚のカラーコピーで報告し、喜んで頂きました。丸川校長先生の記念碑については平成24年の関西浜水会で提案があり、事業完了まで実に5年の歳月がかかりました。

私は浜田郷土民謡保存会の会長も務めておりますが、11月19日（月）に第21回郷土芸能体験学習「浜田民謡教室」を母校で開催しました。母校勤務中からの継続事業で21年目となっております。3年生の生徒諸君も浜田節男踊りに積極的に取り組んでくれました。

2月1日（金）には、「いわみーる」で課題研究発表会が開催されました。来賓23名及び全校生徒参加のもと、食品流通科、海洋技術科の7つのグループが発表されました。先輩からの継続研究もあり、特にマルハマ食品と共同開発された「あきひさの万能だれ」

を販売することができたことは、ノドグロふりかけに続いての快挙です。

2月24日（日）には第4回浜水を語る会をジョイプラザで開催しました。参加者は38名で浜水高時代の思い出を大いに語って頂きました。参加者の年齢差が大きいのですが、この度は初参加の方10名が思い出を語られ拍手喝采でした。この語る会は浜水会の宝物として継続していきたい事業です。

2月28日（木）には浜水会入会式で、34名の卒業予定者に激励の言葉をかけさせていただきました。3月1日（金）には卒業式に参列しました。巣立っていく本科生34名・専攻科修了生9名の生徒諸君が、お互いに連絡を密にし、浜水会の行事に積極的に参加してもらえよう願っております。

このように1年間浜水会関係の行事に参加させていただきました。平成7年の阪神淡路大震災を契機に2府5県で設立された関西浜水会は、今秋25周年を迎えます。会長も5代目の田野 博会長となり、井上稔義事務局長を中心に役員の皆さんの協力で頑張っておられます。また、広島支部も今夏で再開10周年を迎えます。浜水会本部としましても、いささかの援助ができればと思います。

終わりに、島根県立浜田水産高等学校と浜水会の益々の発展と、会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしますとともに、浜水会発展のためいっそうのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い致します。



丸川久俊校長先生モニュメントサインと満開の桜です。校舎の前と校庭を囲むように桜が植えられていますが、いつの間にか枝を大きく伸ばし立派になりました。毎年生徒や学校職員だけでなく、訪問される方の目を楽しませてくれています。会員の皆さんもぜひお越し下さい。

平成30年度を振り返って

校長 中村 公一

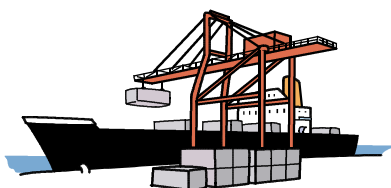
浜水会の皆様には、平素より本校の教育活動に対して、多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、3月1日に第69回卒業・修了証書授与式を行い、本科生34名、専攻科生9名が、この学び舎から新たな航海へと出港しました。本科生の60%が地元漁業をはじめ、水産加工業等関連企業へ専攻科生は全員が船舶乗組員として就職しました。教育目標の1つでもある「水産・海洋の専門的知識・技術を身に付け、社会に貢献できる人材を育成する。」については達成することができたのではないかと思います。

学校の状況については特筆すべきことが2つあります。1つは、昨年3月に「今後の県立高校の在り方検討委員会」が2020年代の県立高校の将来像について、2年間かけて検討された結果を提言ということで教育長へ報告されました。その中で浜田市、江津市の県立高校の方向性として、今後10年間で中学卒業生が平成31年3月末と比較して78人の減少が見込まれるため、専門高校（江津工業、浜田商業、浜田水産）においては、石見部の企業や大学等と連携し、6次産業、起業家教育にも力点を置いた地域を支える専門的職業人を育成する専門教育を行うことと提言されています。学校としても、この提言を十分に把握し水産教育の不易と流行をしっかりと見極め、特色ある教育活動の実践に努めたいと思います。

もう1つは生徒募集の点から十分な生徒を確保するためには「望水寮」増築が喫緊の課題でありました。この課題を解決するべく岡本後援会長をはじめ関係者の皆様方のご尽力をいただき、昨年10月には新棟が完成しました。これにより寮の定員が30名から44名へ増員となりました。今後は寮生が定員一杯になるように引き続き生徒募集に努めたいと思うとともに、寮生達が、「望水寮」で学習に真剣に取り組む、水産・海洋に興味を持ち、寮生がお互いに切磋琢磨し、学力を向上させることで一人でも多くの者が、この浜田水産高校で育ち、日本の水産界・海運界で活躍してくれることを祈るところです。

最後に今後も浜田水産高校の灯りを消すことなく、地域と共に・地域に貢献する・魅力と活力ある学校になれるように頑張るつもりです。浜水会の皆様には、いろいろな意味でご協力をお願いすることと思いますが、引き続きご支援のほど、よろしく願います。



平成30年度 浜水会役員会

日 時：平成30年6月11日 10:00～12:00

会 場：浜田水産高校会議室

会長、副会長、顧問の三役をはじめ、理事、監査及び事務局計14名の参加により、平成30年度役員会を開催しました。顧問の中村校長からは、県外生の増加に伴い、寮の増築やその他学校の現状について報告がありました。

議事の概要は以下のとおりです。

議題

①平成29年度事業報告

事務局より報告、承認されました。

②平成29年度決算・監査報告

会計担当より同窓会会計及び名簿積立金会計の決算報告及び、会計監査より監査報告が行われ、承認されました。

③平成30年度事業計画（案）

事業案については事務局からの提案どおり承認されました。

④平成30年度予算（案）

会計担当より提案があり、承認されました。

⑤創立70周年記念事業報告

創立70周年記念事業に関連した下記事業について、収支を含めた報告が行われました。

- ・丸川校長先生モニュメントサイン
- ・創立70周年記念誌発行費用等
- ・募金事業
- ・会員名簿発行に関する収支

⑥その他

広島支部総会・懇親会

日 時：平成30年7月8日（日）11:00～16:00

会 場：ホテルセンチュリー21 広島

出 席：17名

議 題

平成29年度会計・監査・行事報告・質疑応答その他



平成30年度広島支部総会

7月6日から7日にかけて広島地方は豪雨に見舞われ、大きな被害が発生しました。広島支部総会・懇親会の開会も危ぶまれる状況でしたが、予定どおり行われるということで、事務局からも再開したばかりの高速バスで広島へ向かいました。会場へ着くと既に広島支部の会員の皆さんが準備をして待っておられました。広島支部総会・懇親会開催に臨む皆さんの熱意が伝わり胸が熱くなりました。呉から来られた会員の方は、陸上交通がマヒしているの船で来られたということでした。さすが水産高校OBだなと感心してしまいました。

以上のように大変な状況でありましたので、当日の移動手段が確保できず、欠席となられた方が数名おられたのは残念でしたが、田中支部長様をはじめ、広島支部の皆様のおかげで、本当に楽しい語らいの一時を過ごすことができました。広島支部の皆さんありがとうございました。

今年は広島支部が再開してから10年目となります。支部総会・懇親会は7月21日（日）が開催予定となっていますので、広島にお住まいでない方も参加されてはいかがでしょうか。世代や住んでいる場所は異なっている、浜水卒業生という絆を感じることができる、ステキな時間を共有しましょう。



広島支部総会・懇親会その1



広島支部総会・懇親会その2

関西浜水会総会・懇親会

日時：平成30年11月3日（日）11:00～14:00
会場：ニューオオサカ ホテル
出席：31名
議題：会務報告・平成29年度会計報告・監査報告
役員改選・その他



平成30年度関西浜水会総会

平成7年の阪神淡路大震災を契機に設立された関西浜水会も、早いもので今年25年目となります。震災当時被災された会員の調査や連絡のため、浜水会事務局長であった山崎 晃現会長以下、同窓会事務局として情報収集にあたっていたことを思い出します。

関西地方では昨年の6月18日に大阪府北部地震が発生しました。会員の皆さんに大きな被害が発生したとは聞いておりませんが、「災害は忘れた頃にやってくる。」とはこのことかと思わずにはおられませんでした。

関西浜水会総会・懇親会も今年度で25回目となります。元号が令和となって最初の会でもありますので、広島支部同様に、関西在住以外の会員の皆様にも参加して頂けると良いと思います。



「浜水を語る会」

期 日：平成31年2月24日（日）

時 間：第1部 17:00～18:00

第2部 18:00～20:00

会 場：オープンハート ジョイプラザ

出 席：36名

浜田市近郊の会員が、年に一度集まる機会を持つと始まった「浜水を語る会」も四回目となり、年中行事として定着しました。今回は旧職員で機関科教員であった坂根 忠先生に参加して頂くことができました。

出席者は3期から57期までと年齢差がありますが、「浜水を語る会」に参加することで顔なじみとなり、会話が弾むようになりました。全く堅苦しい会ではなく、昔話をしながら一杯やろうというものです。開催日未定ですがおそらく今年度も年度末になると思います。会員はどなたでも参加できますので、希望される方は事務局までお問い合わせ下さい。

「浜水を語る会」は今後も浜水会の大切な事業として継続して行く予定です。ぜひ多くの会員の方に参加して欲しいと思っています。



3期から12期の皆さん



校歌斉唱と万歳三唱で締めました

浜水会入会式

平成30年度浜水会入会式を平成31年2月28日（木）に行いました。今年の入会者は34名と少数でしたが、山崎会長の激励の言葉を受け、入会者を代表して食品流通科3年の川端粋花さんが「諸先輩方のご指導、ご助力を頂きながら、卒業生としてさらなる伝統を築き、母校の発展のために力を尽くすことを誓います。」と力強く宣誓してくれました。

卒業後はそれぞれの道を歩むことになりますが浜田水産高校の卒業生という、共通のルーツを持つもの同士なので、その絆を大切に人生を送って欲しいと願います。



川端粋花さん入会宣誓

平成30年度 卒業生・修了生の進路先

【海洋技術科】

県内就職

(株) サンクラフト、浜田港運 (株)

医療法人社団 水澄み会、(有) 吉勝漁業

県外就職

神原タグマリンサービス (株)、内海造船 (株)

深田サルベージ建設 (株)

進学

専攻科、波方海上技術短期大学校

【食品流通科】

県内就職

DKK ロジスティクス (株)、(有) くまハウス

(有) 国府石油、島根合板 (株)、浜田港運 (株)

(株) 浜田昭石、(有) マルセイ商店

マルハマ食品 (株)、医療法人社団 水澄み会

県外就職

(株) キャプテンライン

進学

穴吹情報デザイン専門学校、東洋医療専門学校

浜田ビューティーカレッジ、浜田准看護学校

福岡こども専門学校

【専攻科】

県外就職

泉汽船 (株)、上野トランステック (株)

オーライン (株)、神原タグマリンサービス (株)
菅原汽船 (株)、福井備蓄マリン (株)
宮崎産業海運 (株)、リベラ (株)
公務員
海上保安庁

平成30年度学校の様子

生徒の状況

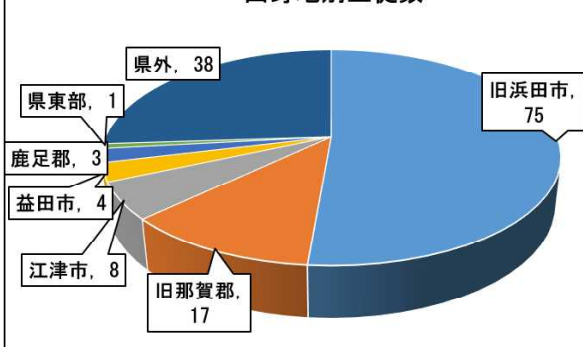
平成30年4月現在

	学年	コース	男子	女子	計
海洋技術科	1		30	0	30
	2	海洋機関	12	4	28
			11	1	
	3	海洋機関	8	1	16
			7	0	
食品流通科	1		5	12	17
	2		5	13	18
	3		5	13	18
専攻科	1	漁業機関	7	0	10
			3	0	
	2	漁業機関	4	0	9
			5	0	
計			102	44	146

上の表は平成30年度スタート時の生徒数です。全校生徒が480名近くいた1学年4クラスの時代に比べると、隔世の感があるのではないのでしょうか。これはもちろん少子化の影響もありますが、浜田市内の中学生が、市外の私立高校（普通科）を進路先として選択する傾向が高くなっている現状があります。従って本校だけでなく、市内の県立高校は3校とも定員割れとなっています。

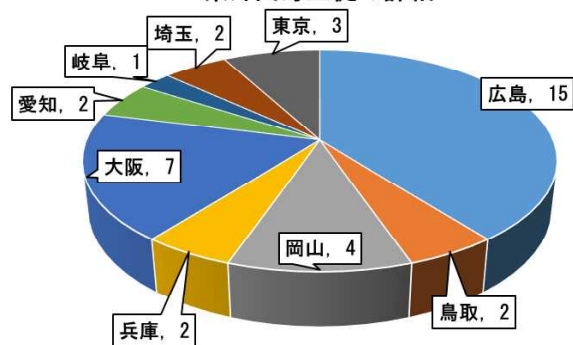
このような状況下にあるので、少しでも生徒を確保するために、現在は全国に対して生徒募集を行っています。県が主催するU I ターンフェアに学校として参加し、生徒募集の努力をしています。今年は昨年までの大阪と東京の2会場に加え、福岡と名古屋でのフェアにも参加する予定となっています。

出身地別生徒数



次のグラフは生徒を出身地別に表したものです。以前と大きく変わったのが、大田市出身の生徒がいないということです。かつては大田・邇摩で漁業を営む家庭の生徒が多かったのですが、現在は姿を消してしまいました。

県外出身生徒の詳細



次は県外の生徒を出身地別に表したものです。水産高校がなく、距離的にも近い広島県からの生徒が最も多くなっています。また、埼玉県や東京都といった関東圏からの入学者や、大阪府からの生徒も少ないところから、U I ターンフェアの効果ともいえるかも知れません。

現在40名を超える県外生が望水寮で生活を共にしながら浜田水産高校で学んでいます。東京や大阪といった都会から来た生徒は、浜田駅のホームに入ってくる一両編成の列車を見ては驚き、スマホのカメラで撮りまくっていたり、休日には釣りへ行き、浜田の海の美しさや、釣れる魚やイカから海の豊かさを感じています。また、浜っ子春まつりや町内運動会へ参加して地域になじみ、浜田の街へどんどん入っています。卒業後はそれぞれの出身地へ帰る生徒が多いのですが、それぞれの場所で浜水応援団となってくれるよう育てたいと思います。

会員の皆さんも県外出身の生徒たちと出会うこともあると思います。どうか暖かく支えてやって下さい。



浜っ子春まつりで籠を担ぐ寮生たち

平成30年度入学式：4月10日（火）
海洋技術科30名、食品流通科17名、専攻科10名が
入学し、新たな学校生活がスタートしました。



海洋技術科 1 年 刺し網漁業実習5月24日
船酔いの洗礼を受けました。



進路セミナー 6月12日



インターンシップ 7月9日～13日



体育祭 9月1日



海洋技術科2年 神海丸出港式



水高祭 10月27日・28日



卒業式 3月1日

海洋技術科16名、食品流通科18名、専攻科9名が
卒業・修了の日を迎えました。本日より浜水OB
・OGとしてスタートです。

